

Dialogue 32 Saying someone must not do something -してはいけないことをいう-

練習問題の正解と解説

・圭は何を「してはいけない」と言っているでしょうか。英語を聞いて、答えを選びましょう。

1 We mustn't wear shoes in the house. (うちの中では靴をはいちゃいけないんだ。)

- 1 8時を過ぎてもテレビを見ている。
- 2 夜中にうるさく騒いでいる。
- 3 家の中で靴を履いている。
- 4 夕飯の前なのにクッキーを食べている。

正解： 3 家の中で靴を履いている。

解説： 会話で圭は「うちの中では靴をはかないこと」を第 1 の決まりとしてあげていました。そこで答えは3になります。

“must”はかなり語調の強い禁止や確信のある推量を表します。ここでは圭は「はいてはいけない」と禁止事項を述べています。圭の家の中だけでなく、「靴をはいてはいけないこと」は日本の文化では大前提の決まりです。従って、圭も室内で靴をはくことがいけないことだとよく知っています。そこで、“must”という強い禁止を表す言葉を選んだのでしょう。

2 We can't watch TV after 8:00. (8時以降はテレビを見ちゃいけないんだ。)

- 1 8時を過ぎてもテレビを見ている。
- 2 夜中にうるさく騒いでいる。
- 3 家の中で靴を履いている。
- 4 夕飯の前なのにクッキーを食べている。

正解： 1 8時を過ぎてもテレビを見ている。

解説： 会話で圭は2つ目の決まりとして「8時以降はテレビを見ちゃいけない」ことをあげていました。そこで答えは1になります。

“cannot”は不許可や禁止を表せます。“must”ほど強くはありませんが、口語やくだけた表現でよく使用されます。「(家庭の決まりによりおゆるしが出ていないので) 私たちは 8 時以降テレビを見てはいけない」という感覚です。

「靴をはいてはいけないこと」は、圭の家だけでなく、日本の文化では当然のこととし

て決まっていますので、圭も“must”を使って言ったと考えられますが、「8時以降テレビを見てはいけない」ことは圭の家での決まりであり、状況によっては見られることも考えられます。両親から強く禁止されているわけではなく、「だめだよ」と言われている程度なのでしょう。

3 **We mustn't be too noisy at night.** (夜はあんまりうるさくしちゃいけないんだ。)

- 1 8時を過ぎてもテレビを見ている。
- 2 夜中にうるさく騒いでいる。
- 3 家の中で靴を履いている。
- 4 夕飯の前なのにクッキーを食べている。

正解： 2 夜中にうるさく騒いでいる。

解説： 会話で圭は最後の決まりとして「夜はあんまりうるさくしちゃいけない」ことをあげていますので、答えは2になります。

“must”はかなり語調の強い禁止や確信のある推量を表します。ここでは圭は「うるさくしてはいけない」と禁止事項を述べています。圭の家の中だけでなく、「夜あまりうるさくしないこと」は周囲に迷惑をかけないようにする社会での大前提の決まりです。従って、圭も夜にうるさくすることがいけないことだとよく知っており、“must”という強い禁止を表す言葉を選んだのでしょう。

・圭の家では、このほかにも決まりがあります。圭が「してはいけない」と言っていることを選びましょう。

4 **We mustn't be late for dinner.** (夕食に遅れちゃいけないんだ。)

- 1 大きな音で音楽を聞いている。
- 2 道路で遊んでいる。
- 3 夕飯の用意が出来ているのにまだ外で遊んでいる。
- 4 母親が料理をしている台所でちゃんばらごっこで遊ぶ子供たち。

正解： 3 夕飯の用意が出来ているのにまだ外で遊んでいる。

解説： “be late for~”で、「~に遅れる」という意味なので、答えは3になります。

“must”はかなり語調の強い禁止や確信のある推量を表します。圭の家では夕食時に時間通り席についていることが家族の重要な決まりになっているようです。圭もそれをよく知っており、“must”という強い禁止を表す言葉を選んだのでしょう。

5 **We can't play in the kitchen.** (台所で遊んじゃいけないんだ。)

- 1 大きな音で音楽を聞いている。

- 2 道路で遊んでいる。
- 3 夕飯の用意が出来ているのにまだ外で遊んでいる。
- 4 母親が料理をしている台所でちゃんばらごっこで遊ぶ子供たち。

正解： 4 母親が料理をしている台所でちゃんばらごっこで遊ぶ子供たち。

解説： 「台所で遊んではいけない」ということですので、答えは4になります。

“cannot”は不許可や禁止を表します。“must”ほど強くはありませんが、口語やくだけた表現でよく使用されます。「(家庭の決まりにより不許可なので) 私たちは台所では遊んで手はいけない」という感覚です。また「(台所には面白そうなことがたくさんあるけど決まっているから) 遊べないんだ」という残念な気持ちも含んでいるかもしれません。

6 We mustn't listen to loud music. (大きな音で音楽を聞いちゃいけないんだ。)

- 1 大きな音で音楽を聞いている。
- 2 道路で遊んでいる。
- 3 夕飯の用意が出来ているのにまだ外で遊んでいる。
- 4 母親が料理をしている台所でちゃんばらごっこで遊ぶ子供たち。

正解： 1 大きな音で音楽を聞いている。

解説： “loud”は「(声・音などが) 大きい」という意味ですので、答えは1になります。

“must”はかなり語調の強い禁止や確信のある推量を表します。ここでは圭は「聞いてはいけない」と禁止事項を述べています。圭の家の中だけでなく、「大きな音で音楽を聞いてはいけない」ことは周囲に迷惑をかけないようにする社会での大前提の決まりです。従って、圭もそれをよく知っており、“must”という強い禁止を表す言葉を選んだのでしょう。